

東日本大震災遺構・復興まちづくり視察報告書

提出先：貝塚市議会議長

提出者：貝塚市議会議員 樽谷 庄道

視察期間：令和 8 年 7 月 1 日～7 月 3 日

1. 視察目的

東日本大震災の被災地を訪問し、震災遺構、復興まちづくり、防災・減災施策、危機管理体制について調査し、その成果を貝塚市の防災・危機管理行政へ反映させることを目的として実施した。

2. 主な視察先

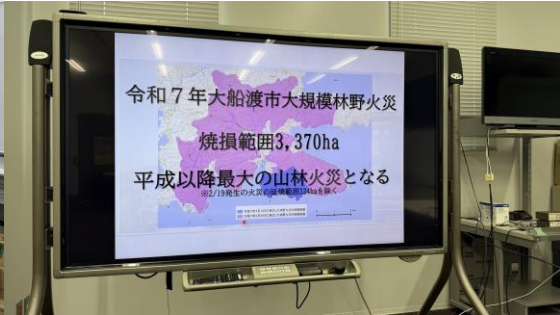
- ・ 南三陸 311 メモリアル
- ・ 南三陸町復興祈念公園・旧防災対策庁舎
- ・ 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館
- ・ いわて TSUNAMI メモリアル
- ・ 大船渡地区消防組合消防本部
- ・ 石巻市震災遺構 大川小学校
- ・ 仙台市震災遺構 荒浜小学校
- ・ かわまちてらす閑上

3. 視察概要

南三陸 311 メモリアルでは佐藤仁前町長と約 2 時間にわたり面談し、『過去の経験が次の災害への思い込みになってしまう』との教訓を学んだ。



大船渡地区消防組合消防本部では、昨年の大規模林野火災について、当時副消防長として現場指揮を執られた現消防本部総務課長から説明を受けた。樹冠火、飛び火、消防団の役割、ICT・GIS・グリッド図・ドローン等の活用など、現場で得られた知見を得た。



大川小学校、荒浜小学校では、防災教育、避難判断、災害伝承の重要性を学び、かわまちてらす閑上では復興と地域コミュニティ再生について視察した。





4. 貝塚市への提言

- ①防災教育の充実
- ②自主防災組織・消防団の強化
- ③ICT・GIS・ドローンの活用推進
- ④平時からの避難訓練の充実
- ⑤災害伝承の継承
- ⑥官民連携による地域防災力向上

5. 所感

今回の視察を通じ、過去の経験にとらわれず、常に最悪を想定した備えの重要性を再認識した。被災地で得た教訓を貝塚市の防災・危機管理施策へ生かしていきたい。

【視察行程表】東日本大震災遺構・復興まちづくり視察

1. 概要

- 日程: 7月1日～7月3日
- 移動手段: レンタカー(仙台空港発着)
- 宿泊地:
 - 1泊目: 気仙沼セントラルホテル松軒
 - 2泊目: ホテルルートイン大船渡

2. スケジュール

【1日目】 南三陸町と気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

- 10:30 仙台空港 出発
- 12:00 南三陸町 到着・昼食
 - 場所: さんさん商店街(震災後の復興商店街の事例)
- 13:30 南三陸 311 メモリアル
 - 内容: 佐藤仁前南三陸町長と面談質疑応答
- 14:30 まちあるき(南三陸町)
 - 場所: 南三陸町震災復興祈念公園周辺
 - 内容: 震災遺構(旧防災対策庁舎)等を巡る。
- 16:00 気仙沼市へ移動
- 17:00 気仙沼セントラルホテル松軒 チェックイン

【2日目】 気仙沼・陸前高田・大船渡

- 09:00 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館
 - 内容: 被災した旧気仙沼向洋高校。津波の威力を伝える大規模遺構。
- 11:30 陸前高田市へ移動・昼食
- 13:00 いわて TSUNAMI メモリアル
 - 内容: 岩手県立の伝承施設。東日本大震災の記録と教訓を学ぶ。
 - 奇跡の一本松や震災遺構を視察。
- 16:00 大船渡市消防組合
 - 内容: 国内最大規模の林野火災の説明。
 - 移動し火災現場での説明。
- 19:30 ホテルルートイン大船渡 チェックイン

【3日目】 石巻・女川・閑上

- 08:30 大船渡市のホテル 出発
- 10:00 石巻市震災遺構 大川小学校

内容:津波により多くの児童・教職員が犠牲となった遺構
校舎や津波が押し寄せた裏山を視察

11:30 シーパルピア女川 昼食

内容:JR 女川駅前から海へとまっすぐ伸びるレンガ道の復興商店街

13:00 女川町 出発

三陸自動車道(一部有料区間)に乗り、仙台空港方面へ南下。

14:30 仙台市震災遺構 荒浜小学校

内容: 津波により多くの児童・教職員が犠牲となった遺構

15:30 かわまちてらす関上

内容:名取川の堤防沿いに誕生した地元事業者が集まる復興商店街

17:00 仙台空港周辺レンタカー返却 仙台空港へ視察終了